

コミュニティ 佐潟だより

—平成24年秋号—



佐潟観光ボランティアガイド養成講座

主催：西区農政商工課 商工振興係「佐潟観光プロジェクトチーム」

西区では、平成24年度特色ある区づくり「わくわく西区PR事業」の一環として、平成24年度佐潟観光ボランティアガイド養成講座が開催されました。

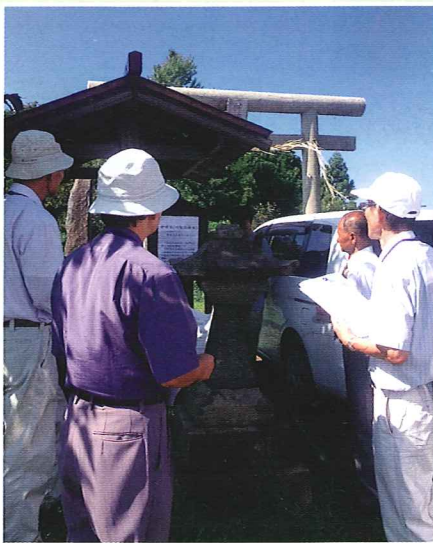
〈観光が地域を元気にする〉をモットーに、主な目的として、

- ① 地域の魅力、歴史、文化を知らせる
- ② 地域の活性化に寄与する
- ③ ガイド自身が楽しみ、また学習する

この佐潟・赤塚周辺地域には、自然あり、歴史あり、またそれにまつわるドラマがあり、それを地域の宝物として、保全(保存)し活用(利用)しながら人に伝え、その地域のファンを作っていこうという試みです。地域の皆様からの応援もよろしく願いいたします。



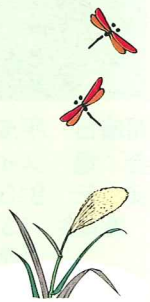
中原邸・石黒家屋敷跡



船江神社

* 養成講座スケジュール *

- | | | |
|-----|-------------------------|-------------------|
| 第1回 | 観光ボランティアの役割 | 終了 |
| | 平成24年7月28日(土) | 13:30~16:30 |
| | 講師：野内 隆裕 | 講師：坂井輪地域学会員 小野・斉藤 |
| 第2回 | 赤塚・佐潟の宝物を知る | 終了 |
| | 平成24年8月18日(土) | 13:30~16:30 |
| | 講師：赤塚郷土研究会員 飯田 素州・太田 和宏 | |
| | 講師：佐藤 安男 | |
| 第3回 | 歩いて発見、観光ポイント | 終了 |
| | 平成24年9月15日(土) | 13:00~16:30 |
| | 各班ごとに史跡をめぐる | |
| 第4回 | ガイドのやり方を学ぶ | 終了 |
| | 平成24年9月29日(土) | 13:30~16:30 |
| | ガイド：関 克人 | |
| 第5回 | おもてなしの心とは | 終了 |
| | 平成24年10月13日(土) | 13:30~16:30 |
| | 講師：南雲 友美 | |



東日本大震災 災害廃棄物受け入れ 問題について

現在進行中の東日本大震災災害廃棄物受け入れ問題について、8月~9月にかけて行われた各自治会での新潟市環境部廃棄物施設課による説明会を踏まえ、赤塚自治連に四ツ郷屋・みずぎ野東西自治会も緊急参加し、9月28日に自治会長会議を開催、各自治会における説明会での意見交換の様子を話し合いました。

代表的な意見としては、農作物への風評被害や将来世代への影響を心配する声が多く、説明会そのものにおいては、受け入れに否定的な意見が多かったようですが、各説明会における参加者が少なく、これをもって、直ちに各自治会の総意とするわけにもいかず、各自治会における意見を確認することで各々持ち帰り、改めて各自治会・町内会の総意をまとめ、再度自治会長会議を開催する事となりました。



みずき野祭り

8月4日にみずき野中央公園にて「みずき野祭り」が開催されました。

中央公園内では模擬店、子供わくわくまつり、フリーマーケット、ライブ、大抽選会が行われました。



模擬店には例年さながらに国際情報大学様より多大な協力を頂きました。育成部による子供わくわくまつりにはかき氷、ストラックアウト、水ヨーヨー、くじ引きなどの出店に沢山の子どもが楽しんでいました。

またこども神輿を行い園児と小学生が「わっしょい」と担いで中央公園内を練り歩きました。

夕方よりみずき野住民を含めたライブを行い、公園内に音楽を奏でていました。フィナーレでは、会場のみなさんと一緒に歌いました。

ライブ終了後、手持ち花火を行い子供たちの長い行列ができました。お祭りの終わりには大抽選会を行い、多くの方が景品を頂きました。



赤塚郷ゆかりの 文人展

開催日 平成 24 年 12 月 9 日(日)

会場 メイワサンピア 2 階

展示 9:00~16:00 入場無料

講演会 13:00~14:30

「赤塚郷ゆかりの書画」

講師 岡村鉄琴氏 (越佐文人研究会代表)

懇親会 17:00~

主な展示作品

- 1 赤塚郷ゆかりの良寛・中原元讓・筒井香山・悦庵禅師・中原蒼園・池田鷲村・美濃派俳人等の作品
- 2 北陸道(北国街道)を通った文人の作品
- 3 祖父が赤塚の人である会津八一の作品、および八一と関係ある旧家の文人趣味の紹介

-問い合わせ先-

赤塚郷ゆかりの文人展実行委員会 事務局: 飯田素州
〒950-2264 新潟市西区みずき野 1-1-14 TEL025-239-2466

佐潟祭り・万燈籠



8月25日佐潟公園内において「佐潟祭り・万燈籠」が開催されました。



各テント村では地元団体や商工会、佐潟荘、メイワサンピア等の展示・体験コーナーもあり、国際情報大学からは軽食コーナーの他、ゴミステーション設置など多くの協力を頂きました。

ステージ上では保育園児によるタル太鼓演奏やよさこいソーラン踊り、小学生によるダンスの迫力に歓声上がり、赤塚中学校音楽部によるコンサートや赤塚伝統芸能保存会による太々神楽や稚児舞には、来場者から暖かい拍手が送られました。

保育園・小中学校の皆さんや一般寄付による燈籠約1100個が遊歩道や湖面を飾り、日暮れと共にほのかに灯って祭り会場

内を情緒豊かに照らしてくれました。エンディングでは個人の祝い事を花火に託す「お祝い花火」、ラストの一般募金による「みんなの花火」合計75発の打ち上げ花火を楽しむ事が出来、公園内から歓声が上がっていました。



団体紹介

老人クラブ

赤塚地区協議会

赤塚上・下・山崎・神山・東山・木山・谷地・中権寺・四ツ郷屋、九つの集落による「単位クラブ」で構成。今年度会員数は799名。

主な活動は、各単位クラブごとで行われる神社・公園・通学路の清掃活動のほか、市の要請で輪投げ大会・ゲートボール大会・交通安全教室などへの参加。囲碁将棋大会では、昨年は全国大会に出場されたそうです。

その他、小・中学校へ出向き、花壇の手入れや昔遊び(竹とんぼ・お手玉など)指導など、幅広く活動されています。いずれの地区でも会員の減少が課題で、西区では昨年より400名弱の減少。会長の佐藤秋男さんによると「役員の高齢が負担で参加者が減っている。谷地では清掃活動後、昼食を兼ね交流の機会として参加者が集まっており、喜ばれている。それぞれ工夫して単位クラブが縮小しないよう、もっと協力をしてもらえたら」と話されていました。



編集後記

『コミュニティバス 増便 10月8日開始』JR越後線の増便社会実験に合わせ、コミュニティ佐潟バスの駅接続便が増便されました。平日14便のほか、これまで無かった土・日・祝日の増便により、JR利用が便利になります。詳しくは10月8日改正時刻表でご確認下さい。

-連絡先- 赤塚連絡所 TEL 025-239-2016 FAX 025-239-2001